

約220人が活発な討議

日本水道協会 九州地方支部 漏水防止講習会

きょうまで

13年度日本水道協会九州地方支部(大橋定則支部長・福岡市水道局)は18日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで漏水防止講習会を開き、九州地区8県の発注機関から約220人が出席、講演やグループ検討会で活発な意見討議等が行われた。なお、きょう19日はグループ討議と全体討議を予定している。

同日は、大橋支部長が「明治20年に水道が整備され、現在では水道の普及率も90%を超えている。一方、老朽管の更新や漏水など諸問題を抱えている。また漏水は2次の災害にもつながることから、今回の討議で情報交換と意見交換が活発に行なわれたい」と挨拶。また主催者を代表して中村鹿児島市水道局長が「都市機能を支えるためになくてはならない水道事業を整備する中で、安全な水の供給を行っていくことは我々の使命である。本日は漏水防止に関する問題を2部門に分かれ検討し、今後の漏水防止の一助になることを期待したい」と述べ、講演に移った。

講演では塩川哲郎地球環境フォーラム鹿児島事務局長が「地球の未来と子供たちの明日のために」と題した講演を行った後、計画部会、調査実施部会に分かれ、グループ討議を行った。

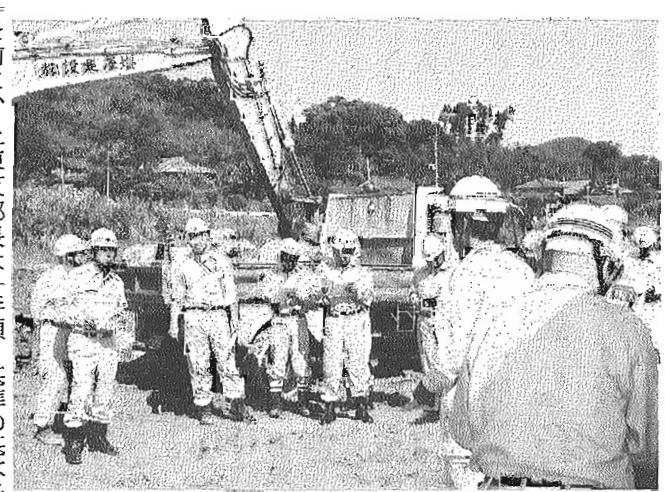
また、2日目の19日は計画部門と調査実施部会の討議の後、漏水防止における費用対効果をテーマに全体討議が行われる。



漏水防止へ情報交換を行った講習会
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

更なる安全意識高揚を

加世田支部事業主パト



現場で安全施策、概要を聞く診断員
＝笠沙町の笠石川工区で

県建設業協会加世田支部(上東信義支部長)は18日、安全管理、災害防止、雇用管理が各社の現場で生かされているかどうか、事業主を対象としたパトロールを実施した。加世田市の南薩建設業会館に集合した全事業主を前に、上東支部長は「分会内、労働、交通安全とも減少しているが、ひとえに支部労務委員による指導を各社がしっかりと応えている。今後も安全に対する意識の高揚を更に強め、企業としての責任を果たし、受注後は、手順・基準の基本を守るのは建設業者としてのルールであっておろそかにできない。本日のパトで更なる職場の環境・安全体制の確立を目指そう」と激励した後、新谷政昭労務委員長から診断、現場注意など説明を受け、

2班に分かれて現場に向かった。

このうち、大浦・笠沙方面では、三和建設(株)、森組、塩屋建設(株)、大浦建設(株)の現場を点検。笠石川工区では、天候に左右されるが足場、作業区域周辺の整理整頓を促した。

最後に、上東支部長が「今日のパトでまだ一息見直し頑張るべきだ、建設業の従事者は多くの資格をもちオールマイティが望ましい。各社、更に資格取得への意欲が無事故につながる」と結んだ。

活動の一環として実施、町民に喜ばれた。

この奉仕作業は昨年から実施しており、今回も各社から3人、計30人が参加。午前8時30分から午後2時頃まで草払いなど行い、2トトラックで8台分を搬出したほか、レールが行われる雄川の右岸の清掃も行い、関係者に感謝された。

今回のレールには例年の120チームを上回る128チームが参加、28レースが展開される。

コスト低減策を検討

工場見学会も

スギの需要拡大へシンポ

山佐木材等

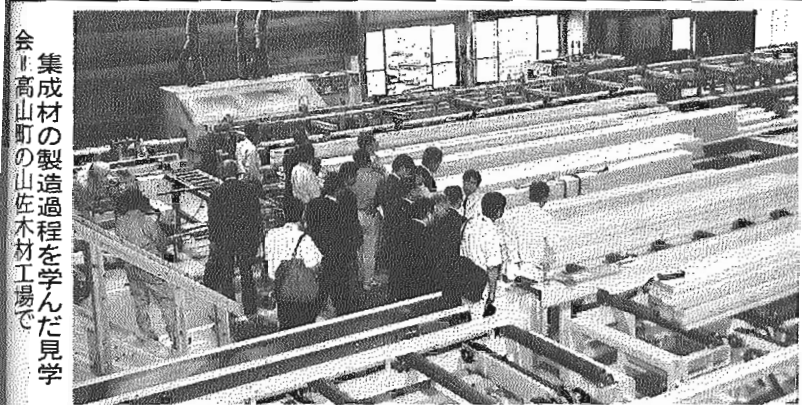
日刊木材新聞社主催、山佐木材(株)(佐々木幸久社長)の共催によるシンポジウム「国産材・スギの国際的競争力を考える」が16日、鹿児島市のさつき苑等で開催された。全国各地から林業・製材関係者ら約160人が参加。スギのコスト低減策や商品力について再考し、その競争力を高めていくことを申し合わせた。

同日午前中は、肝属郡場で現場見学会を開いた。同社は「このほど、国産スギの曲がり材を有効活用した1.5倍のラミナによる中小断面集成材のラインを稼働させており、見学会もそれを中心に行なった。

最初に製材工程の本社工場を視察。同工場では通常、住宅のタイコ材位しか用途のなかった曲がり材を1.5倍に切斷、板挽きまでをオートメーションで実施していた。水測定や全数検査で強度分類を行うといった厳しい品質管理の様子から、縦継ぎ、高周波加熱、プルフローターまでを見学した。

最後に下住工場で、ラミナの積層や仕上げ工程などを巡回。同工場では新しく導入した高周波プレス機と従来の油圧プレス機とによる圧縮により、6時間で20立方分の集成材を生産することが報告された。参加者の中には、このあと、シンポジウムに入り、その中で佐々木社長は「国産スギの需要拡大に向けて、短尺集成材の開発・生産に入っている。更に横架材として、多くの重機使用で玉掛け主任者の不足など指摘、指導した。

午後からの全体反省会では、地域への配慮、笠石川工区の3社安全協議会、安全日誌の記入など課題を発表、是正が求められた。



スギの有効活用等について話し合ったシンポジウム。鹿児島市のさつき苑で

無振動・無騒音

- 鋼矢板圧入引抜工事
- コンクリート矢板・広幅鋼矢板圧入工事

油圧式超高周波鋼矢板打抜工事 (在庫多数)

土木工事一式
各種土留工事
クレーン作業全般

稲森クレーン建設(株)

〒891-0104 鹿児島市山田町416-4
TEL(099) 265-6651 FAX(099) 265-6780